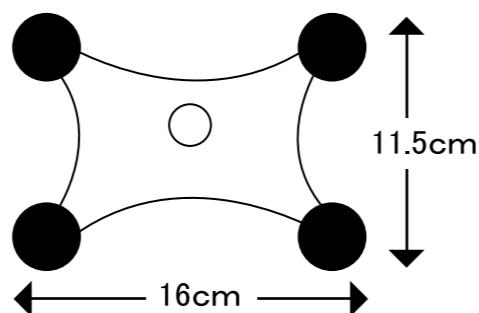


品名 カラー4点杖
型式 R08100 / R08101
色 ブラック / パープル
特徴 細首ソフトグリップ
カラー脚部
材質 グリップ…ポリプロピレン (PP)
ゴム系樹脂 (TPR)
シャフト…アルミニウム合金
脚部台座…ポリプロピレン (PP)
パイプ径 上管 : 22.0 φ mm
下管 : 19.0 φ mm
サイズ 65.0~87.9cm
(2.54cm間隔・10段調節)
脚部外寸 11.5cm×16.0cm
質量 約510g
先ゴム 内径16mm
垂直耐荷重 100kg重



【お手入と保管】

1. 保管場所については、高温、多湿、低温の場所はさけて下さい。
2. ご使用後は水分や汚れを乾いた布等で拭きとって下さい。
3. 落ちにくい汚れは中性洗剤をつけたタオルで拭きとって下さい。
4. 薬品(ベンジン・シンナー・その他薬品)や油類(ガソリン・灯油等)及び金属タワシ等での拭きとりはしないで下さい。

輸入・総発売元  株式会社 **ひまわり**

本社 / 〒751-0817 山口県下関市一の宮卸本町3番30号
TEL 083(229)1500 FAX 083(229)1501
ホームページ / <http://www.himawari-co.jp/>



カラー4点杖

取扱説明書



- この度は、カラー4点杖をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ごさいます。
- 安心してご使用いただくために、ご使用前に必ず取扱説明書を読み正しくご使用ください。
- この説明書はいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

高さ調節の目安

図 1

セーフティナットをゆるめて、高さ調整ボタンを押し込みながら支柱を出し入れして調整します。高さは、まっすぐ足を揃えて立ち杖を体の横に置き、握りを握って肘がやや曲がる位が目安ですが個人差がありますので専門のアドバイザーに指導を仰いでください。調整後、ボタンがボタン穴からキッチリと突出している事を確認してセーフティナットを絞めてください。

左右の変更

図 2

セーフティナットをゆるめて、高さ調整ボタンを押し込みながらグリップを回転させて左右を変更してください。

調節の仕方・使用上の注意

- ①仕様の前に、高さ調整ボタンがきっちり突出している事を確認してください。
- ②セーフティナットがきっちり絞まっていることを確認してください。
- ③セーフティナットはぶれ止めと防音の機能しかありません。荷重は高さ調整ボタンで支えますので、セーフティナットだけに頼った高さ調整はしないでください。
- ④先ゴムはきちんと底まで差し込んで装着してください。
- ⑤先ゴムが摩滅した場合は、新しいサイズのあった先ゴムと交換してください。その際は4こ全部を交換してください。
- ⑥正しい寸法に調整されずに使用すると正しく歩行することができないばかりか、体に不都合が生じる可能性がありますので、歩行並びに取扱いについては医師及び専門のアドバイザーの指導に従ってください。
- ⑦異常音や不都合が生じた場合は、使用を直ちに中止して専門家に点検してもらってください。
- ⑧本来の目的以外に使用しないでください。

図 1

高さの調節の目安

高さは肘がやや曲がる程度に調整してください。

高さ調整ボタンを押し込みながら支柱を出し入れして高さを調整してください。

セーフティナット
先ゴム

体側から15cm程度離してご使用ください。

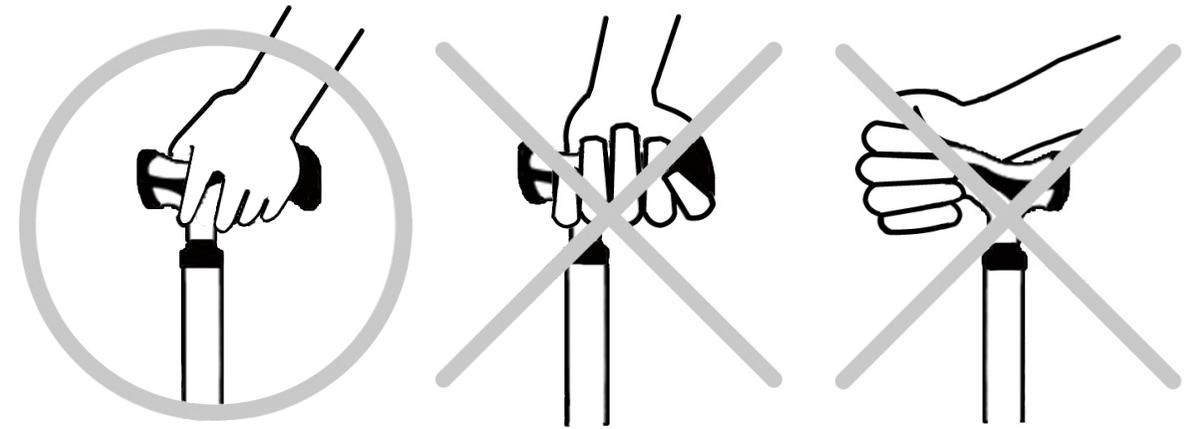
高さ調整ボタン

図 2

左右の変更

高さ調整ボタンを押し込みながら支柱を回転させて、握りの左右を変更してください。

正しい杖の持ち方



⚠ 使用上の注意

1. ステッキとしての目的以外（登山用、護身用等）には使用しないで下さい。
2. からだに合った寸法に調整した後、正しい持ち方でご使用下さい。
3. 棒状のつえは、つえ無しで自立歩行できる人がより安定して歩行できるよう補助的に使用するものです。次のような場合の使用には適しません（体重をかけすぎたりすると、かえって肩や手を痛めることもあるからです）。また、購入時はそうでなくても、次のような状態になった場合の使用も中止して下さい。
 - ①つえ無しでは歩行できない者の使用（手ずりに伝わらなければ歩行できない者や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない者の使用が含まれます。）
 - ②リハビリ中などのように、体重の一部を支えないと歩行できない者。ただし、医師などの指導のもとでの使用は含みません。
4. 使用前に各部を点検し、使用中も支柱の継ぎ目や長さ調節部およびグリップが確実に接続固定されているか、ガタツキや曲がりがないことを確認して使用して下さい。
5. 先ゴムが、破れや摩耗している場合や劣化して外れやすくなった場合は使用を中止して先ゴムを交換して下さい。
6. 濡れた又は凍った路面は滑りやすいため十分注意して使用して下さい。
7. 道路の側溝の溝や凹みがある箇所では、つえ先がはまり込む場合があるため十分注意して下さい。
8. ご年配の方が使用される場合は周囲の方が確認して下さい。
9. 握り先端に過大な力をかけるような使い方をしないで下さい。
10. ステッキは歩行の補助としてお使いいただくもので、全体重を支えることはできません。